E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2020/12/05**

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号	試合会場	観客数
162	駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場	750

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
14:00	16:19	02:19	村中　伸	浜野　陽一

FC東京	通算	VC長野トライデンツ	通算
	3 勝 10 敗 ポイント： 11		1 勝 12 敗 ポイント： 5

	FC東京		VC長野トライデンツ
3	25	第1セット	27
	30	第２セット	28
	25	第３セット	21
	22	第４セット	25
	15	第５セット	10
2			

監督コメント（FC東京）

本日もホームゲームにおいて勝利をお見せすることができて、非常にうれしく思います。
途中交代で入った長友、山田、井上らがそれぞれの持ち味をしっかり発揮し、難しい状況を立て直してくれた。
明日もＶＣ長野の粘り強いバレーに苦しめられると思うが、ＦＣ東京のバレーボールをお見せし勝利を目指します。
本日も熱い応援をありがとうございました。

監督コメント（VC長野トライデンツ）

V1に昇格してから１度も連勝することができていなかったので、なんとしても勝ちたかった。
FC東京もすごくディフェンスが良いチームなので簡単なゲームにはならないと思っていたが、勝負どころでのミスや決定力の差で負けてしまいました。
明日は年内最後のリーグ戦になるので、必ず勝ちたいと思います。
本日もたくさんの熱い応援ありがとうございました。明日もよろしくお願いします。

要約レポート

ホームゲームで３勝目を飾りたいＦＣ東京と、先週初勝利をあげ、波に乗るＶＣ長野トライデンツの対戦。
第１セット、立ち上がりからＦＣ東京は、ブレモビッチのスパイクが決まる。対するＶＣ長野は、森﨑のサービスエースや矢貫、笠利のブロックポイントで接戦となる。中盤からＶＣ長野リヴァンのスパイクが決まり、デュースにもつれ込むが、最後はＶＣ長野リヴァンのブロック、スパイクが決まり、このセットを取る。
第２セット、立ち上がりＦＣ東京は迫田のスパイクが決まりリードする。一方ＶＣ長野は矢貫や、途中交代した池田(幸）のスパイクが決まり、追いつく。どちらも引けをとらず、デュースを繰り返すが、最後はＦＣ東京・長友のスパイク、井上のサービスエースが決まり、ＦＣ東京がこのセットを取り返す。
第３セット、ＶＣ長野は序盤のサーブミスを、リヴァンのスパイクで切る。一方、ＦＣ東京は第２セット途中から出場した山田のトスが冴え、長友、佐藤のスパイクが立て続けに決まると流れをつかみ、このセットを連取する。
第４セット、ＦＣ東京は、佐藤、長友のスパイクで攻めるも、ＶＣ長野は途中交代した笠利とリベロの角が、拾って繋ぎゲームを組み立てた。リードを保ったまま終盤に突入すると、最後は、ＶＣ長野・池田(幸）のブロックとアタックが連続で決まりこのセットを取り返した。
第５セット序盤、ＦＣ東京の佐藤、長友のスパイクが決まる。途中ＶＣ長野は中村、笠利と立て続けにブロックを決めるが、流れをつかんだＦＣ東京は、最後長友のスパイクが決まり、ＦＣ東京がこの試

試合番号	試合会場	観客数
163	ウィングアリーナ刈谷	1,300

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
15:35	17:43	02:08	城　智人	岡田　崇

ジェイテクトSTINGS	通算	ウルフドッグス名古屋	通算
	10 勝 4 敗 ポイント： 26		11 勝 3 敗 ポイント： 32

	ジェイテクトSTINGS		ウルフドッグス名古屋
1	25	第１セット	27
	27	第２セット	25
	20	第３セット	25
	16	第４セット	25
		第５セット	
3			

監督コメント（ジェイテクトSTINGS）

今年最後のリーグ戦を勝って締めくくりたかったが、悔しい敗戦となりました。
ただ負けはしましたが、内容的にはいいプレーもたくさんあり、次に繋がる試合になったと思います。
またこれから連携を深めていき、プレーの精度を上げ、チームとしてもレベルアップできるよう取り組んでまいります。
刈谷大会の二日間、たくさんの応援が我々の力になりました。ありがとうございました。
今後とも、引き続き応援の程、よろしくお願いいたします。

監督コメント（ウルフドッグス名古屋）

昨日と同じ対戦相手でしたが、内容が全く違う戦いであった為に、対応することが大変難しい試合だったと思います。
本日は我々ウルフドックス名古屋にとっては2020年Vリーグ最後の試合でした。この試合で出たチームの課題や反省点を克服し、2021年1月9日(土)から、豊田合成記念体育館エントリオで再開するホームゲームに繋げていきたいと思います。
2020年応援して頂いたサポーターの皆さま本当にありがとうございました。

2021年以降も皆さまとともに闘い続けたいと思いますので、応援のほどよろしくお願いします。

要約レポート

現在３位につけるジェイテクトSTINGSが１位ウルフドッグス名古屋を迎えての一戦。試合の結果によっては上位の順位が入れ替わる大切な一戦は、ＷＤ名古屋が前日の雪辱を果たした。
第１セット、ジェイテクトの西田が３枚ブロックをものともせずアタックを決め、試合をスタートさせる。対するWD名古屋はクレクが強烈なアタックを決め、すぐに逆転。その後もWD名古屋はサービスエースを積み重ね、リードして試合を進める。終盤、ジェイテクトは西田のサービスエースで追いつき、僅差の勝負となったが、最後はWD名古屋が高梨のブロックでセットを先取した。
第２セット、両チームとも相手の強打をつなぎ、１点を取り合う接戦となる。11－11からWD名古屋はクレクのアタックなどで、このセット初の３連続ポイント。そのままＷＤ名古屋が流れを掴むかと思えたが、ジェイテクトは饒、藤中、福山のブロックなどで追いつき逆転し、セットを取り返した。
第３セットはWD名古屋の高梨がサービスエースを２本、アタックを８本決めるなど大活躍。WD名古屋が流れを掴み、最後も高梨のアタックでセットを取った。
第４セット、WD名古屋は第３セットの勢いのまま、６－１まで差を広げる。中盤はジェイテクトが藤中のアタックを皮切りに、５連続得点で追い上げる。終盤は攻守の歯車がかみ合ったWD名古屋が一気に勝負を決め、３－１で勝利を掴んだ。

試合番号	試合会場	観客数
164	日本製鉄堺体育館	322

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
13:00	15:23	02:23	國頭　亮太	山本　和良

堺ブレイザーズ	通算	大分三好ヴァイセアドラー	通算
	6 勝 7 敗 ポイント： 18		0 勝 13 敗 ポイント： 3

	堺ブレイザーズ		大分三好ヴァイセアドラー
3	25	第１セット	15
	28	第２セット	30
	25	第３セット	21
	24	第４セット	26
	15	第５セット	13
2			

監督コメント（堺ブレイザーズ）

（キャプテン：高野　直哉）
今日の試合はゴーダン監督不在のなかチーム一丸となって戦うことが出来ました。
第１セットの入りはとても良かったのですが、第２、第４セットは相手の好プレーに接戦を落としてしまいました。
第５セットも苦しい展開でしたが、逆転で勝ち切ることが出来、チームとして成長することが出来たと思います。
明日で年内のＶリーグの試合は最後となりますので、しっかりと勝利で終えられるよう頑張ります。
本日は応援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願いします。

監督コメント（大分三好ヴァイセアドラー）

堺ブレーザーズの高い組織的なブロックに苦しみました。
何とか粘りのバレーで接戦に持ち込みましたが、またもや勝ちにつなげる事ができず、悔しい思いです。
しかしチームの勢いはあるので、明日への糧として勝利をつかみとれるよう頑張ります。
本日は応援ありがとうございました。

要約レポート

堺ブレイザーズと大分三好ヴァイセアドラーの一戦は、フルセットにもつれ込む展開となった。
第１セットは、ジョンを中心に得点を重ねた堺が危なげなく先取した。
第２セット、大分三好はバグナスの力強いスパイクで勢いに乗る。対する堺は高野がサーブ、スパイクで活躍を見せ応戦し、デュースに持ち込むが、最後は大分三好・勝の鋭いスパイクが決まり、セットを取り返した。
第３セット、堺は松本、出来田、両センターの攻撃が次々と決まり、樋口もバックアタックを決めてリズムに乗ると、ストックトンにボールを集めて追いすがる大分三好を振り切り、セットをものにした。
第４セットは、セッター・関田が多様な攻撃パターンを見せた堺と、リベロ・松尾を中心に好レシーブでストックトンにボールを繋げた大分三好の一進一退の攻防が続くが、途中出場の古賀が終盤に得点を重ねた大分三好がこのセットを取り、最終セットに持ち込んだ。
第５セット序盤、大西のブロックポイントでいいスタートを切った大分三好が、要所で林のセンター攻撃も決まり、得点を重ねた。対する堺は、大分三好・バグナスの強烈なスパイクに苦戦するも、樋口のサービスエースやバックアタックで応戦し、最後は15-13でセット取り、堺はチームの記念すべき20周年を迎えた日に嬉しい勝利を収めた。

試合番号	試合会場	観客数
165	広島グリーンアリーナ（広島県立総合体育館）	1,840

開始時間	終了時間	試合時間	主審	副審
14:00	16:13	02:13	グレッグ　ルーオー	千代延　靖夫

JTサンダーズ広島	通算	パナソニックパンサーズ	通算
	7 勝 6 敗 ポイント： 23		10 勝 3 敗 ポイント： 29

	JTサンダーズ広島		パナソニックパンサーズ
2	25	第１セット	22
	17	第２セット	25
	26	第３セット	24
	24	第４セット	26
	12	第５セット	15
3			

監督コメント（JTサンダーズ広島）

ホームゲームにお越し頂いた多くのファンの皆様、ありがとうございました。
結果フルセットの末、負けてしまいましたが、けが人も復帰しチームには少し明るい兆しも見えてきたと思います。
第４セットの６点差リードされた状況から追いついたものの、勝ち切れなかった事が現状だと思います。
明日は強い気持ちを持ち、勝利を目指して臨みます。

監督コメント（パナソニックパンサーズ）

今日の試合は、点数を追いかけているという印象でした。
第４セットで大きなリードをしていたが追いつかれて負けそうになりましたが、Fighting　Spiritがあり、勝てたと思います。
選手達はしっかり練習してきたので、勝てて非常に嬉しいです。
明日の試合も大事なので、応援よろしくお願いいたします。

要約レポート

第１セット序盤、JTサンダーズ広島がエドガー、山本の強烈なアタックでリードするが、パナソニックパンサーズも大竹、山内が高い角度からのアタックで応戦する。中盤、パナソニックはリベロ伊賀の好レシーブや渡辺が強烈なアタックを決めて粘りをみせるが、武智が緩急を交えたアタックで少しずつリードを広げたJT広島が先取した。
第２セット、序盤にパナソニックが久原のサーブで崩して渡辺がアタックを決めてリードを広げる。JT広島はセッター合田がエドガー、小野寺、武智にボールを集めて粘りをみせるが、パナソニックは大竹、小宮が強烈なアタックを決めると流れを一気に掴み、セットを奪い返した。
第３セット、JT広島はエドガーが高さあるアタックを決めると、パナソニックもセッター深津がJT広島のブロックを翻弄させるトスワークでアタックを決めるなど、両者譲らない展開となった。終盤にJT広島のエドガーがアタックを決めて抜け出すが、すぐにパナソニックも大竹、渡辺のアタックなどで追いつき、デュースに持ち込んだ。最後は、JT広島はエドガーが強烈なアタックを連続で決めてセットを奪い返した。
第４セット、パナソニックが大竹のアタックやサービスエースでリードするが、JT広島も山本のバックアタックやブロックで粘りをみせる。中盤にJT広島の武智の活躍で得点を重ねると、さらに途中出場の八子がアタックを決めて追い上げをみせ、同点に追いついた。終盤は１点を争う展開だったが、最後はパナソニック大竹がバックアタックを決めて、フルセットに持ち込んだ。
第５セット、パナソニックが大竹の強烈なアタックや山内のサービスエースで得点を重ねると、JT広島は、エドガー、武智、山本の気迫溢れるアタックで応戦して意地のぶつかり合いとなった。JT広島の

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。